

アンケート結果概要

アンケートの目的

環境経営の取組みを推進されている企業が、環境経営を実践していく上で感じている課題が何か、および、どのような工夫を行っているかをお伺いすることを目的としてアンケートを実施

調査対象および有効回答数

環境省環境情報開示基盤整備事業「企業と投資家のためのESG対話プラットフォーム」御参加企業のうち、TOPIX Mid400/TOPIX Smallに区分されている企業で2019年度売上高が1千億円～8千億円の**224社**
有効回答数：**50社**（有効回答率：**22.3%**）
（Q5以降は49社）

アンケート回答期間

2020年12月21日～2021年1月29日

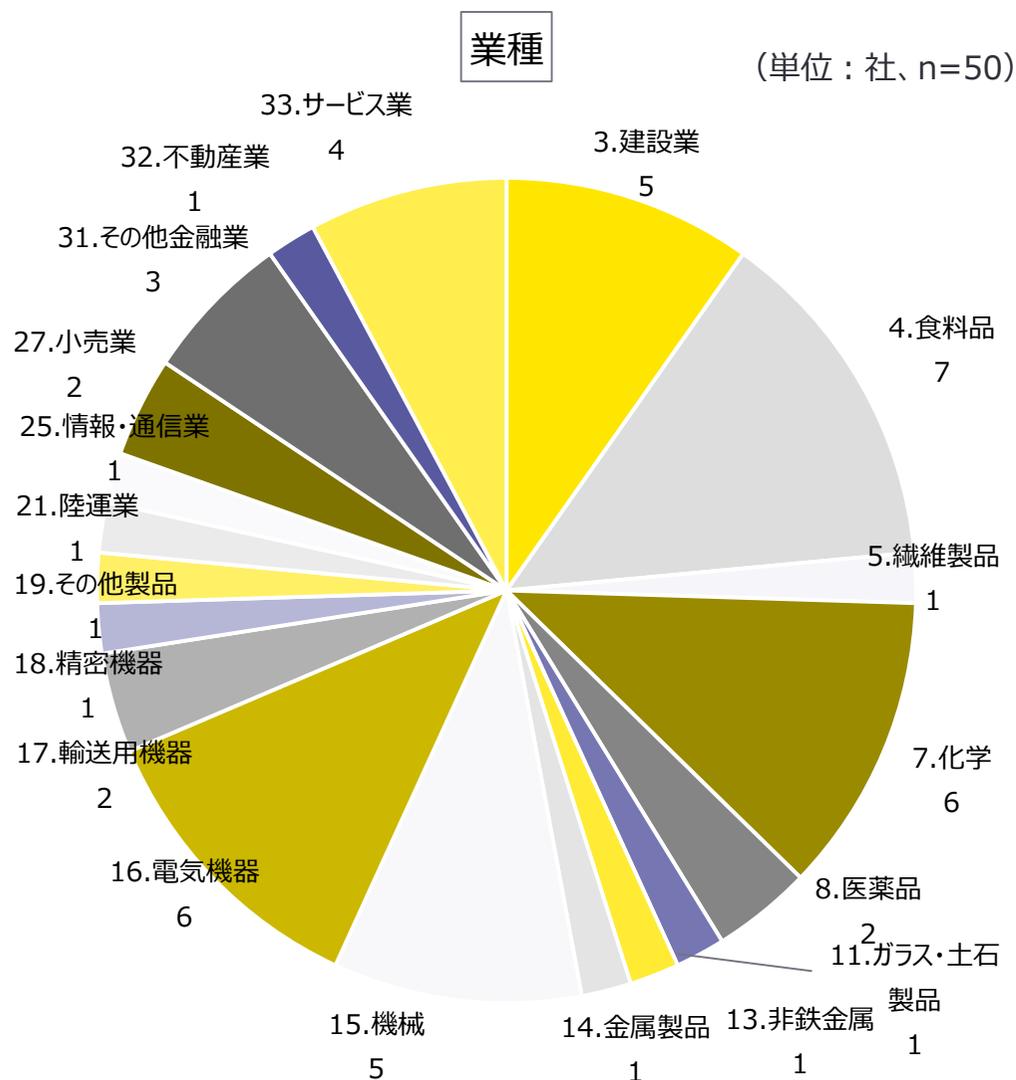
アンケート質問構成

- Q1.ご回答者の属性
- Q2.環境経営の進捗意識/重点施策
- Q3.環境経営のメリット
- Q4.環境経営の成功要因と課題
- Q5.環境経営に取り組むきっかけ
- Q6.環境経営に取り組むための情報源
- Q7.外部サポートへの期待

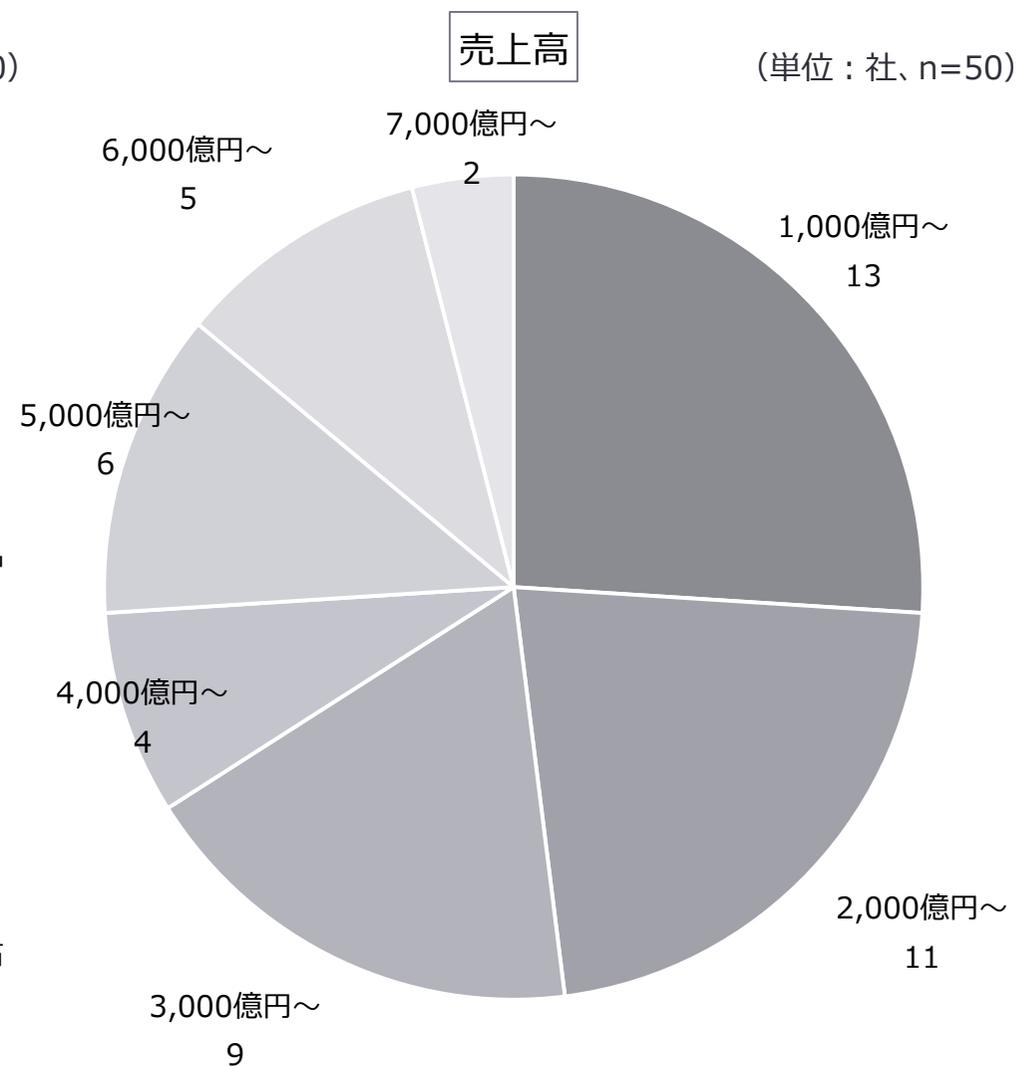
Q1.1回答結果(ご回答者の属性)

Q1.1 ご回答にあたって、企業名、部署名/役職名、ご連絡先などをご記載下さい。

回答企業は50社、売上高規模では3,000億円以下の企業を中心に多様な業種からの回答を頂いた



※:番号は東証株価指数33業種区分に基づく



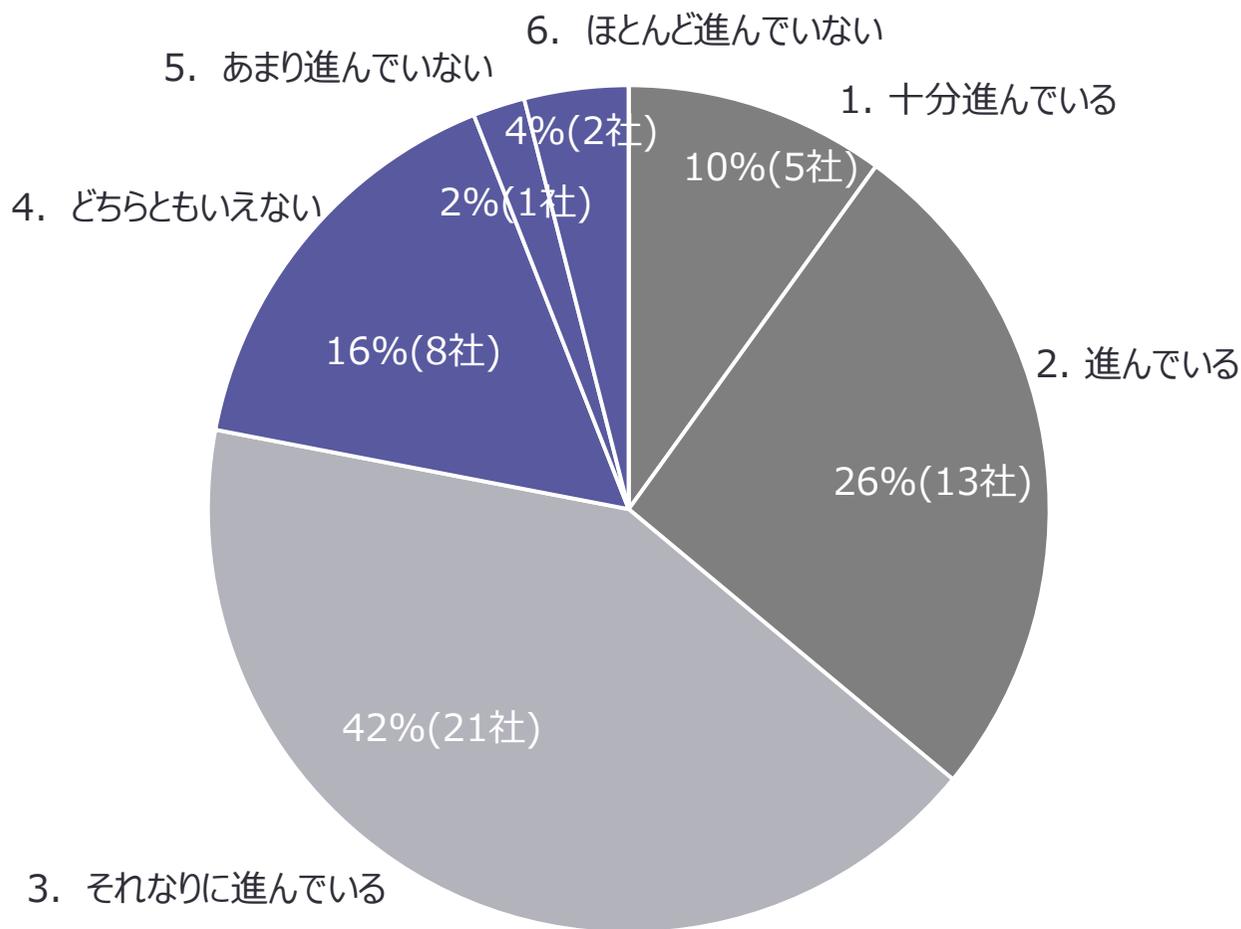
※:2019年度決算

Q2.1回答結果(環境経営の進捗意識)

Q2.1 貴社の環境経営における、現在の状況について教えてください。

「十分進んでいる」「進んでいる」と回答した企業は全体の40%弱

(単位：%・社、n=50)



1. 十分進んでいる

(例：環境配慮だけでなく、環境関連の重要な機会とリスクを企業価値の向上に向け、自社戦略に取り込んだ経営を推進し、継続している)

2. 進んでいる

(例：環境配慮だけでなく、環境関連の重要な機会とリスクを企業価値の向上に向け、自社戦略に取り込んだ経営を推進している)

3. それなりに進んでいる

(例：環境配慮だけでなく、環境関連の重要な機会とリスクを整理し、できるところから形式的に取り組んでいる)

4. どちらともいえない

(例：EMS等の環境配慮の対応に加え、現在SDGsやTCFD等への対応は検討段階)

5. あまり進んでいない

(例：EMS等の環境配慮の対応が中心で、SDGsやTCFD等への対応は検討していない)

6. ほとんど進んでいない

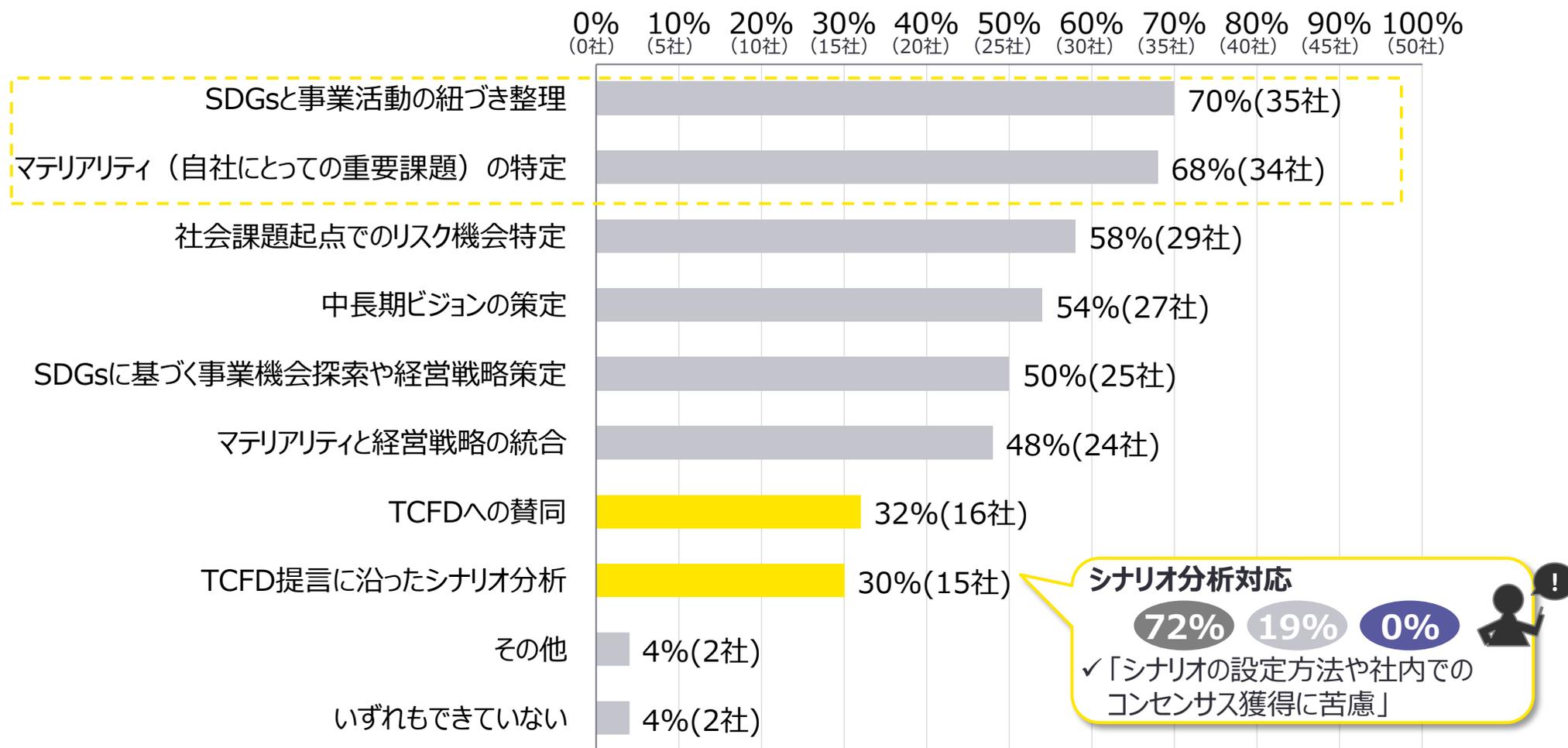
(例：EMS等の環境配慮の対応においても取組みが追い付いていない)

Q2.2回答結果(経営・事業戦略策定)

Q2.2 貴社が環境経営において重点的に取り組んでいる
 /取り組んできたことを教えてください。
 【経営・事業戦略策定】(複数回答可)

マテリアリティの特定やSDGsと事業活動の紐づきの整理が進む一方、TCFDへの賛同やシナリオ分析は3割程度の企業が実施

(単位：%・社、n=50)



凡例：
 Q.2.1での回答企業における当該質問の回答割合

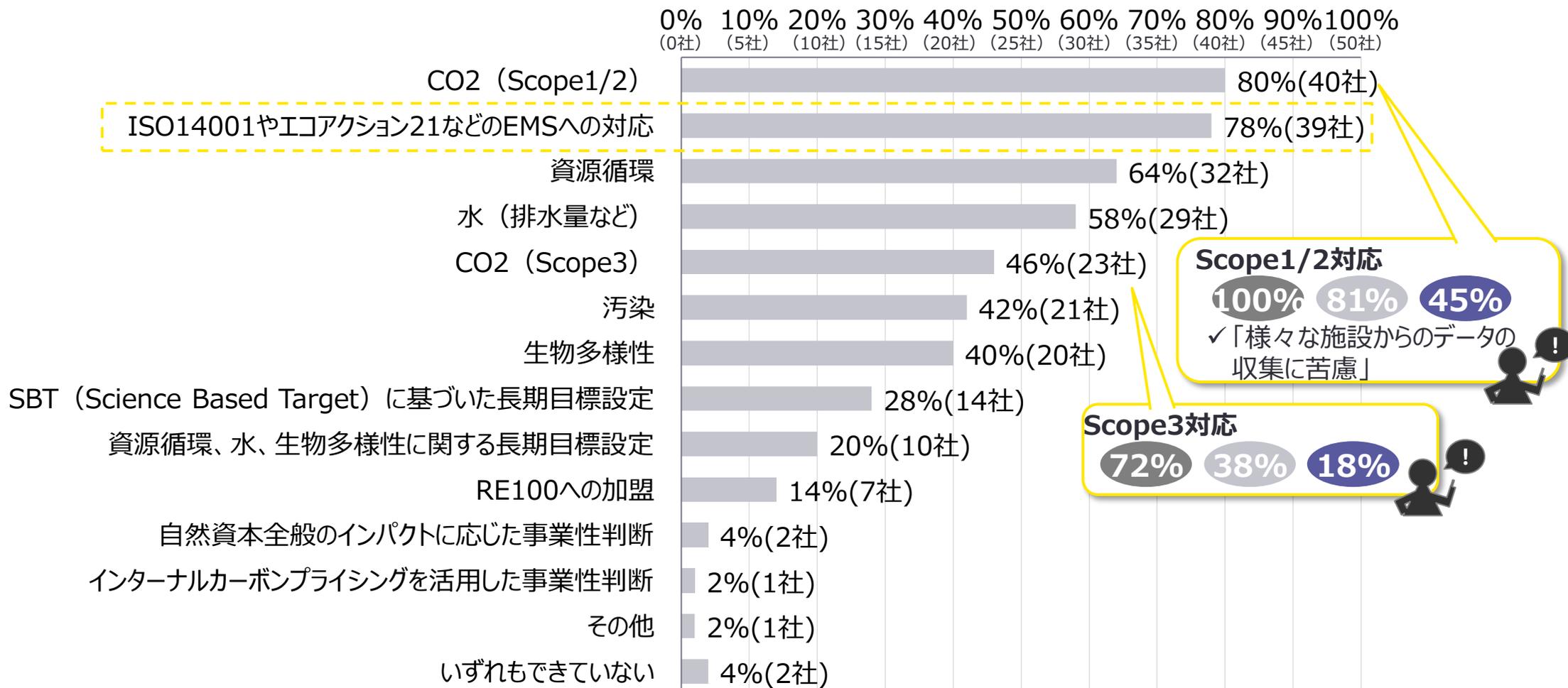
72%	19%	0%
「十分進んでいる」	「それなりに進んでいる」	「どちらともいえない」
「進んでいる」	「あまり進んでいない」	「ほとんど進んでいない」

Q2.3回答結果(活動展開)

Q2.3 貴社が環境経営において重点的に取り組んでいる／取り組んできたことを教えてください。
【活動展開】(複数回答可)

EMSへの対応等環境負荷の把握に努める企業は約8割に上る一方、CO2Scope3対応等は半数程度の企業が実施していると回答

(単位：%・社、n=50)



凡例：
詳細分析結果やヒアリング結果を記載 Q.2.1での回答企業における当該質問の回答割合 XX% 「十分進んでいる」「進んでいる」 XX% 「それなりに進んでいる」 XX% 「どちらともいえない」「あまり進んでいない」「ほとんど進んでいない」

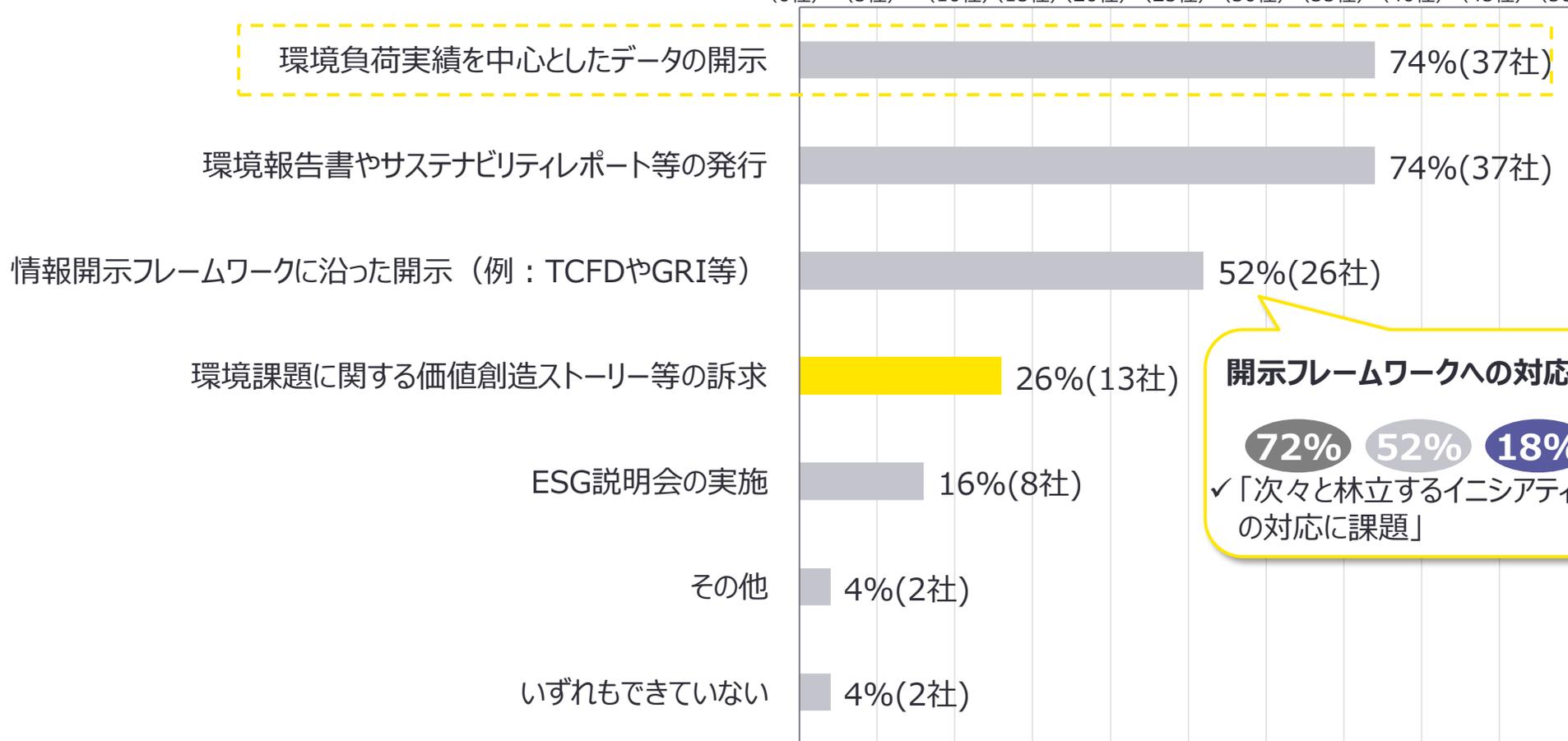
Q2.4回答結果(情報開示・成果獲得)

Q2.4 貴社が環境経営において重点的に取り組んでいる／取り組んできたことを教えてください。
【情報開示・成果獲得】(複数回答可)

環境負荷データの開示は74%が実施する一方、価値創造ストーリー等の訴求は26%に留まる

(単位：%・社、n=50)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
(0社) (5社) (10社) (15社) (20社) (25社) (30社) (35社) (40社) (45社) (50社)



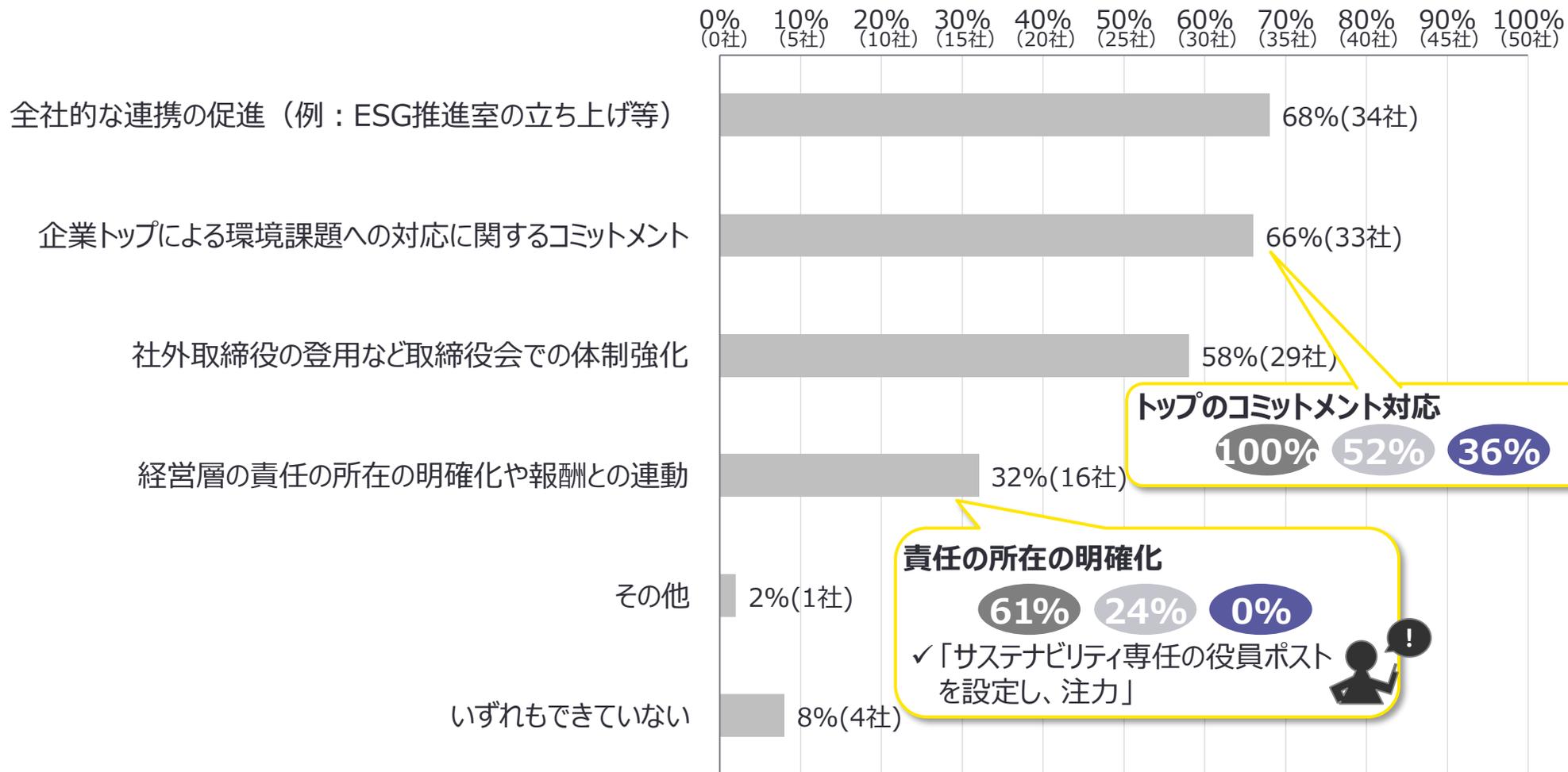
詳細分析結果やヒアリング結果を記載
凡例：
Q.2.1での回答企業における当該質問の回答割合
XX%
「十分進んでいる」「進んでいる」
XX%
「それなりに進んでいる」
XX%
「どちらともいえない」「あまり進んでいない」「ほとんど進んでいない」

Q2.5回答結果(ガバナンス:全社的な体制整備)

Q2.5 貴社が環境経営において重点的に取り組んでいる／取り組んできたことを教えてください。
【ガバナンス:全社的な体制整備】(複数回答可)

企業トップの環境課題へのコミットメントや体制整備が過半数の企業で進む一方、報酬との連動は約3割の企業で実施

(単位: %・社、n=50)



詳細分析結果やヒアリング結果を記載
 凡例: Q.2.1での回答企業における当該質問の回答割合
 ● XX% 「十分進んでいる」
● XX% 「それなりに進んでいる」
● XX% 「どちらともいえない」
● XX% 「あまり進んでいない」
● XX% 「ほとんど進んでいない」

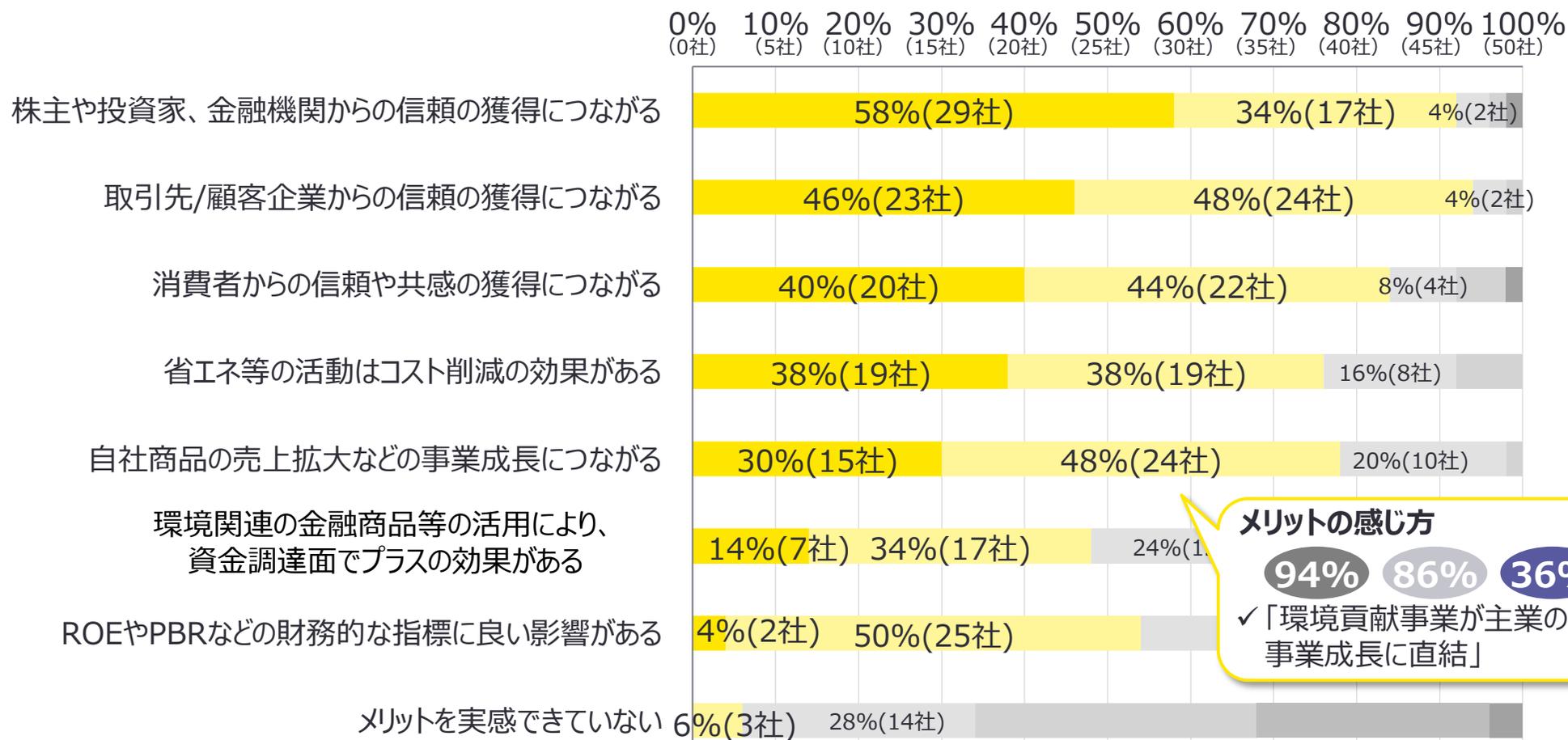
Q3.1回答結果(環境経営のメリット)

Q3.1 貴社では、環境経営に取り組むことのメリットについてどのように感じていますか？

株主や投資家、金融機関、取引先/顧客企業といったステークホルダーの信頼の獲得が環境経営に取り組むメリットと認識されている

(単位：%・社、n=50)

■ 強くそう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない ■ よく分からない



メリットの感じ方

94% 86% 36%

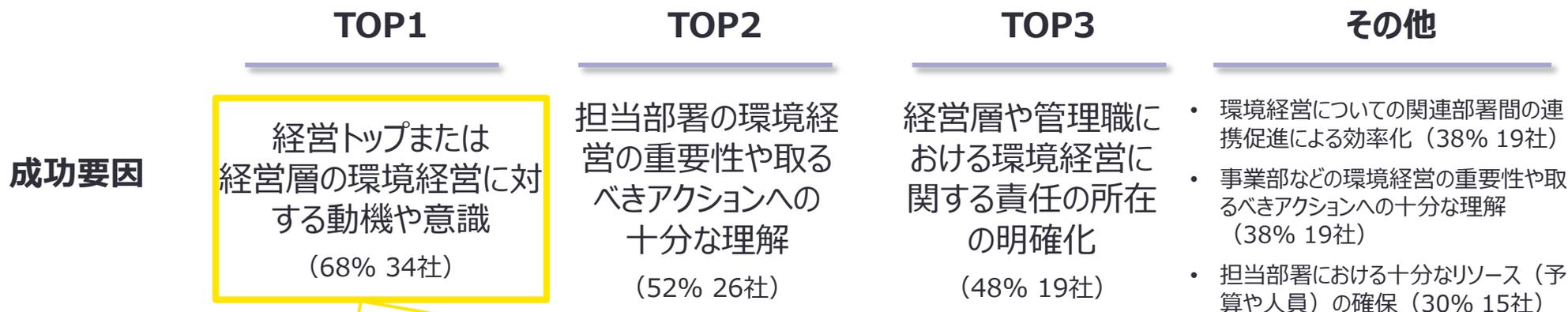
✓「環境貢献事業が主業のため、事業成長に直結」

凡例：
 詳細分析結果やヒアリング結果を記載
 Q.2.1での回答企業における当該質問の回答割合
 XX% 「十分進んでいる」「進んでいる」
 XX% 「それなりに進んでいる」
 XX% 「どちらともいえない」「あまり進んでいない」「ほとんど進んでいない」

Q4.1回答結果(環境経営の成功要因と課題)

Q4.1 貴社の環境経営の取組の成功要因または課題となっている要因を教えてください。

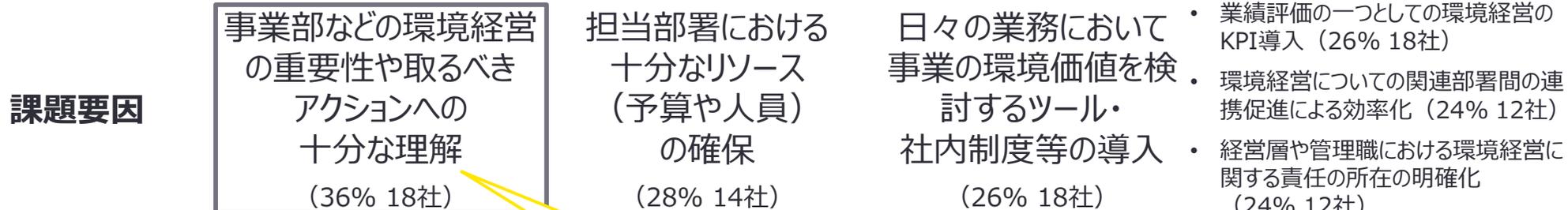
環境経営の成功要因は「経営トップの理解」、課題要因は「事業部などの環境経営の重要性等の理解」の回答が最多



経営層の動機や意識

94% 67% 27%

※「進んでいる大きな要因」/「進んでいる要因」との回答の割合



社内の現場担当者への理解浸透

28% 38% 45%

※「進まない大きな要因」/「進まない要因」との回答の割合

- ✓「現場の理解のためには報酬基準等への結びつけが必要と史料」
- ✓「腹落ち感を持ってもらうため体系的な研修プログラムを導入」



凡例:

Q.2.1での回答企業における当該質問の回答割合

XX%

「十分進んでいる」「進んでいる」

XX%

「それなりに進んでいる」

XX%

「どちらともいえない」「あまり進んでいない」「ほとんど進んでいない」

詳細分析結果やヒアリング結果を記載

Q5.1回答結果(環境経営に取り組むきっかけ)

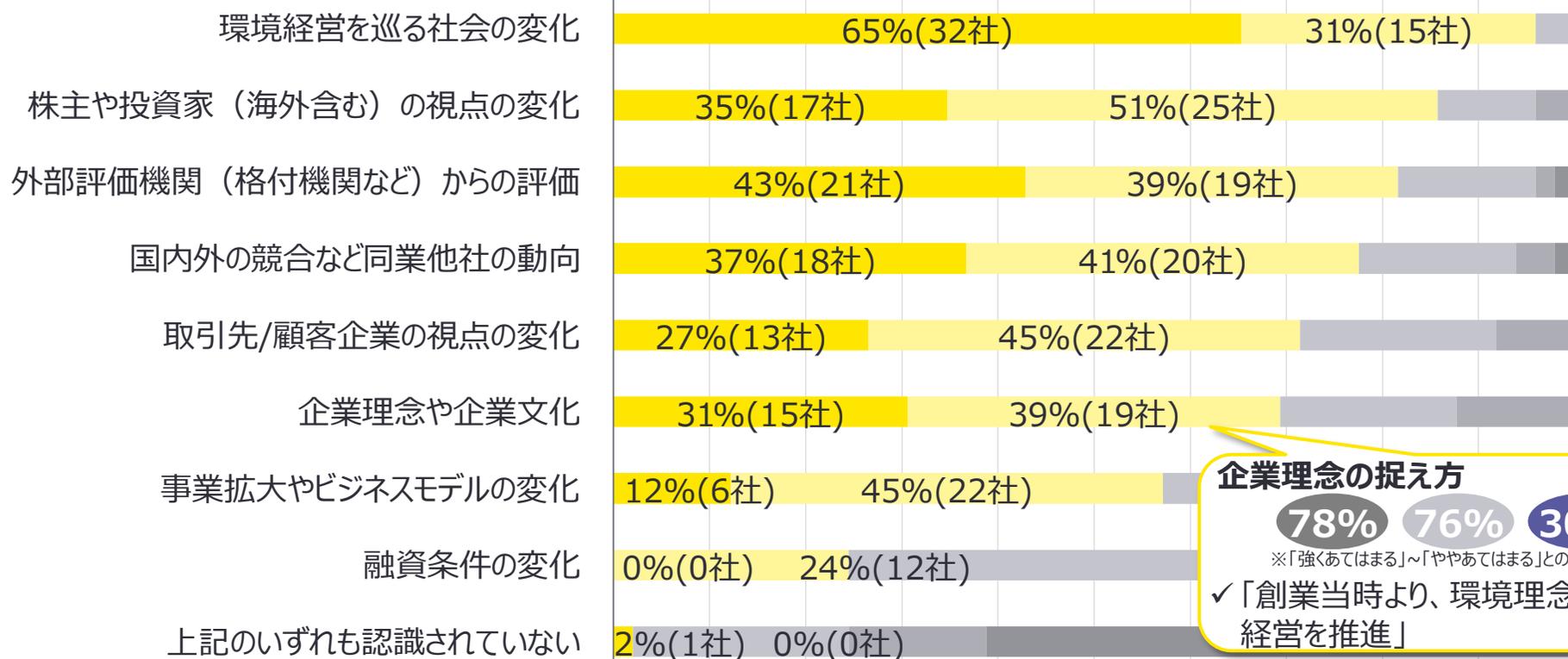
Q5.1 貴社が環境経営に取り組むきっかけとなったことについて教えてください。環境経営が進んでいないと認識されている場合は、有効と思われるものをお答えください。

環境経営を巡る社会の変化や株主/投資家の視点の変化をきっかけとしている企業が多数ある一方、事業拡大や融資条件の変化は環境経営のきっかけとした回答は少なかった

(単位：%・社、n=49)

■ 強くあてはまる ■ ややあてはまる ■ どちらともいえない ■ あまりあてはまらない ■ 全くあてはまらない

0% (0社) 10% (5社) 20% (10社) 30% (15社) 40% (20社) 50% (25社) 60% (29社) 70% (34社) 80% (39社) 90% (44社) 100% (49社)



企業理念の捉え方

78% 76% 30%

※「強くあてはまる」~「ややあてはまる」との回答の割合

✓「創業当時より、環境理念を重視し、経営を推進」

詳細分析結果やヒアリング結果を記載

凡例：
Q.2.1での回答企業における当該質問の回答割合

XX% 「十分進んでいる」「進んでいる」

XX% 「それなりに進んでいる」

XX% 「どちらともいえない」「あまり進んでいない」「ほとんど進んでいない」

Q6.1回答結果(環境経営に取り組むための情報源)

Q6.1 貴社が環境経営に取り組む中で(特に経営層を中心に)有効となっている情報源を教えてください。あてはまるものを5つまで選択してください。

「投資家との対話」が情報源として最多で社外セミナー、取引先/顧客企業との対話が続く

(単位: %・社、n=49)

